

# いしかり暦の活用例

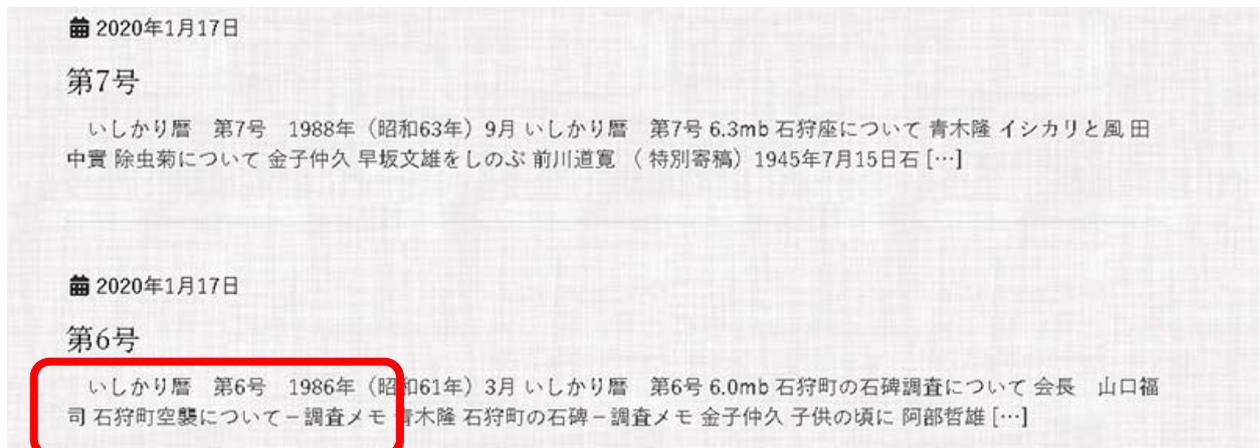
現在まで発刊されている32冊の「いしかり暦」は、石狩の歴史の宝庫といえる貴重な資料です。「石狩空襲」を事例に、活用法を考えていきたいと思います。

## 1. トップページ「検索窓」の利用

トップページ右上にある「検索窓」に、「空襲」と入力して検索をスタートします。



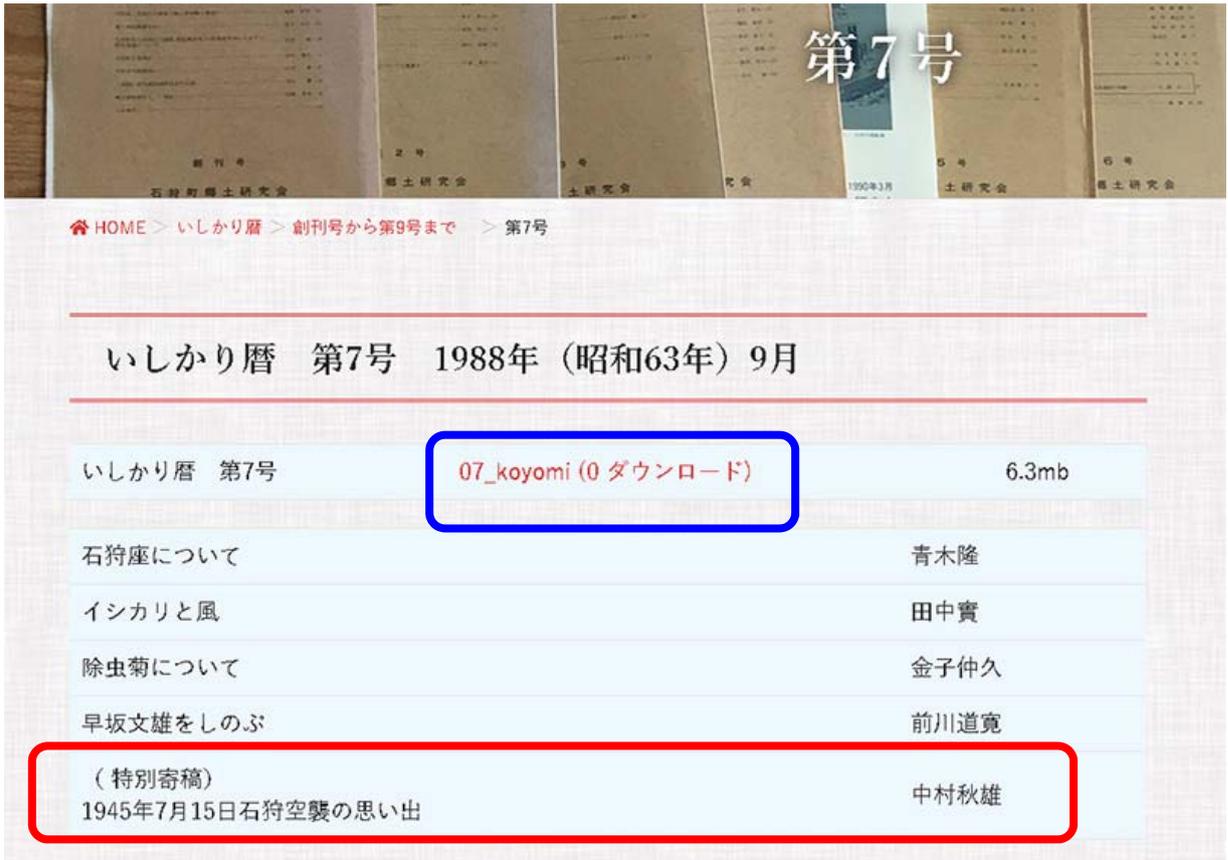
## 2. 検索結果の確認



一部を省略していますが、見出しに「空襲」の文字がある4つの号が表示されました。表示される字数に制限があります。ここでは、第7号を見てみましょう。

## 3. 目次の確認

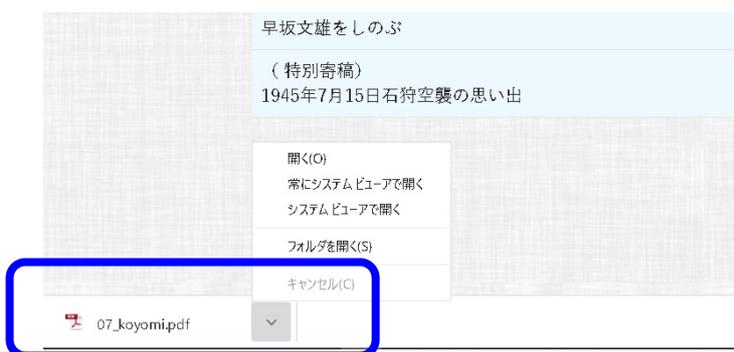
第7号をクリックします。



中村秋雄さんによる(特別寄稿)として「1945年7月15日石狩空襲の思い出」という記事が掲載されています。

青枠の位置の「07\_koyomi(0 ダウンロード)」をクリックしてください。

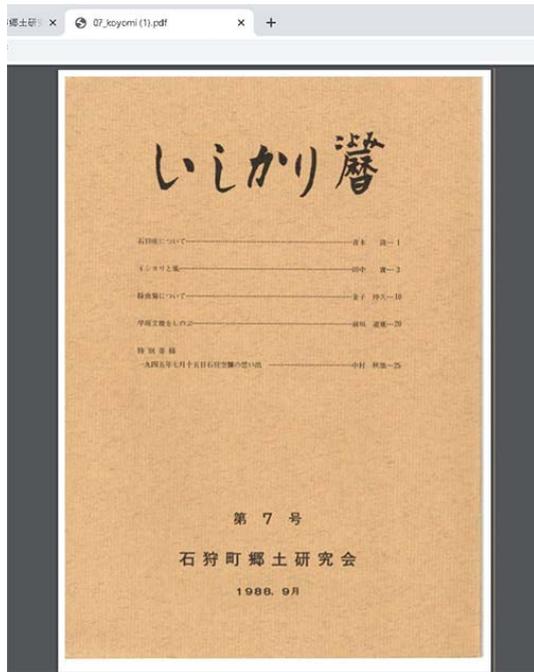
#### 4. ダウンロードの確認



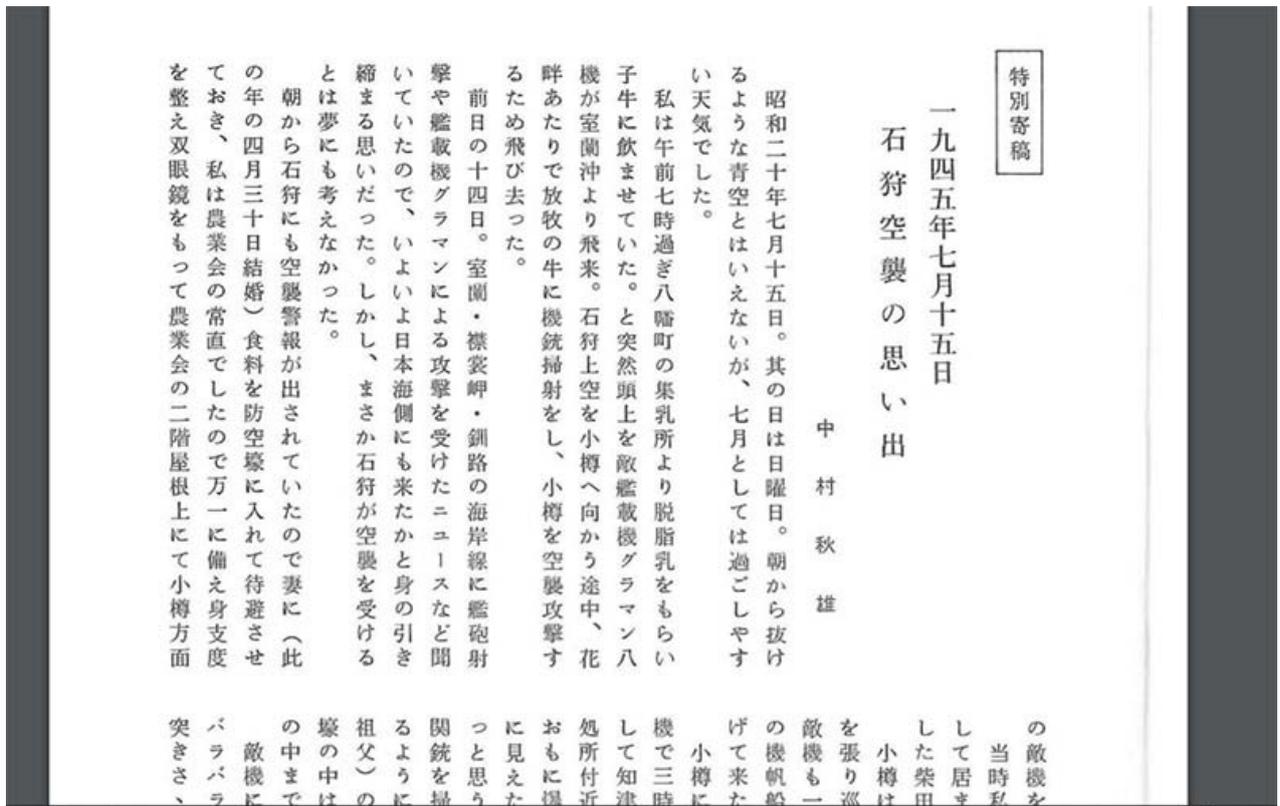
ブラウザの下に、「07\_koyomi」という PDF ファイルがダウンロードされた则表示されます。例は、「Chrome」で表示しています。

## 5. PDF データの表示

「07\_koyomi」をクリックすると、「いしかり暦第 7 号」が表示されます。



表紙に表示された目次から 25 ページ以降が目的の記事であることがわかります。



該当するページを表示して、当事者の方による貴重な記事にたどり着くことができました。

## いしかり暦の活用例 2・裏技編

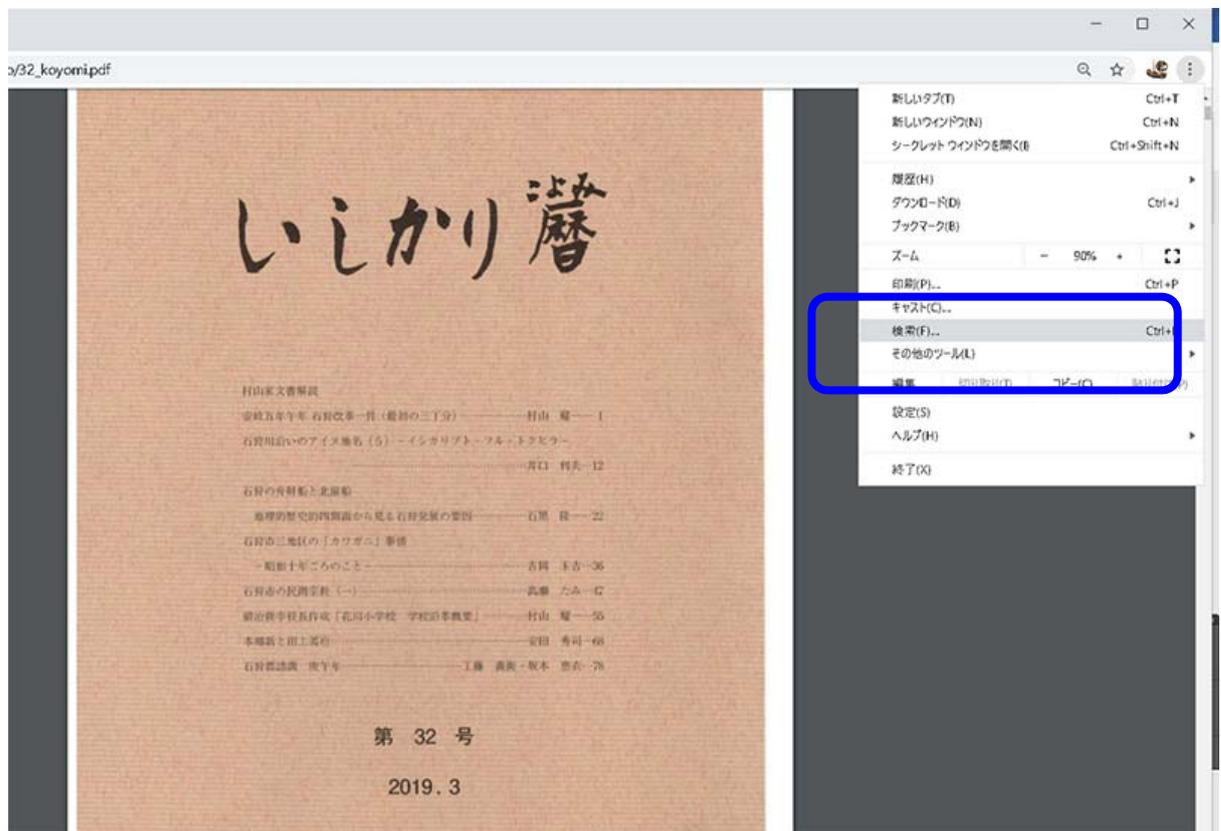
32 冊の「いしかり暦」は、石狩の歴史の宝庫といえる貴重な資料です。一度ダウンロードされたら、ご自分のパソコンに保存されることをお勧めします。

「石狩空襲」を事例に、もう一つの活用法「裏技編」を考えていきたいと思います。

最初の方法では、「見出し」に「空襲」の文字がある記事以外を検索することは不可能です。もう一つの活用例では、PDF の全文検索機能を利用します。

### 1. ブラウザの検索窓を活用

PDF を保存したと仮定して、改めて任意の号を「Crome」で開きます。この例では「最新号 32号」を開くことにします。



ツールバーの右上にあるアイコンをクリックして、「検索」の文字を見つけます。そこをクリックすると、「Crome」の検索窓が開きます。

## 2. ブラウザの検索窓に「空襲」と入力

ブラウザ「Crome」の検索窓に空襲と入力します。



2件、「空襲」という文字が含まれていることがわかります。下向き矢印をクリックします。

## 3. 石狩海浜ホテルの消失がヒット



表示されたのは、「彫刻家本郷新と建築家田上義也」という安田秀司による原稿だった。石狩海浜ホテルが空襲で焼失したこと、さらにホテルの来歴などを知ることができました。

### 【補足】

ここでは、「いしかり暦」から「空襲」という事例を探る事例を紹介しました。本会では、石狩郷土シリーズ1として、「石狩の空襲を語りつぐ」を発売しています。この書籍も、今後随時、掲載していく予定です。